

令和2年度

事業報告書

自 令和02年04月01日
至 令和03年03月31日

社会福祉法人 魚野福社会

社会福祉法人魚野福祉会 事業報告

1. 概況

新型コロナウイルスの脅威と闘い始めて早一年が過ぎた。

わが国では、この一年間は専門家の予想どおり、「まん延防止措置」や「緊急事態宣言」による感染抑制とそのリバウンドが繰り返され、行動規制策により直接打撃を受けた飲食業、観光業などのサービス産業においては立て直しがきかない所まで疲弊し、また、医療・福祉分野では、大阪などの感染拡大地域においてはベッド数が足りずに重症患者が入院できず、高齢者施設で発生したクラスターなどには十分な医療処置が取れないため多くの入所者が亡くなるなど、心配された経済の落ち込みや医療のひっ迫が現実のものとなっている。

そのような中で、医療従事者や高齢者へのワクチン投与がようやく始まり、長いトンネルの先に微かな光が見えている。とはいえ、第4波の放物線の頂きがまだ見えない状況は変わりなく、更なる感染拡大とワクチン接種の競り合いの様相を呈している現状である。

魚沼市においても、GW明けには既に40人以上の感染者が報告されており、プライマリケアの拠点となる医療機関でも感染が広がり、いよいよ対岸の火事ではないという差し迫った脅威を感じている市民も増えている。

一時期不足していたマスクや消毒用アルコールなどは安定的に入手できるようになってはいるものの、感染力の高い変異種のまん延や連日の市内での感染者の報告により不安な日々はまだまだ続くものと思われる。

特別養護老人ホームうおの園でも、身近に感染が迫っていることから、面会の停止や職員の行動制限などはさらに強化が必要となっており、ご家族に不自由をおかけするとともに、人手不足が続く状況下で、職員には引き続き体力的・精神的負担を課す状況が続いているが、一方で、5月から6月にかけて入居者へのワクチン接種が開始されることは、終息への第一歩を踏み出したとの明るいニュースとなり、職務の励みとなっている。

入居待機者数は、本年3月末現在で146名となっており、依然として減らないまま推移しているため、市の第8期介護保険事業計画には前期から引き続き、「市内特養50床増設」が掲げられている。

なお、3月末現在の入居状況は、定員70名のところ男性14名、女性55名であり、最高齢が107歳、平均年齢89.5歳、平均要介護度4.5となっている。

ケアハウスやまなみにおいては、介助の必要がなく、自分で買い物等ができる入居者もいることから外出希望の声も聞かれるが、うおの園と同時期に行われるワクチン接種が終わるまでは予防対策を徹底してもらうよう我慢をお願いしているところである。

本年3月末現在の入居最高齢が102歳、最低年齢が67歳、平均年齢87.5歳、定員30名のところ男性10名、女性20名でこちらも女性の割合が高く、令和2年度は入居及び退居者がそれぞれ7名と比較的多くあり、要支援、要介護の特定入居契約者は21名で、全体の7割となっており、さらにこの割合が増えていくことが予想されるため介護職員の配置体制も見直しが必要となっている。

なお、3月末現在の入居希望者数は36名で、常に定員を上回る待機者がいる状況となっている。

魚沼市養護老人ホーム南山荘は、4月と5月に2回のワクチン接種を行い、副反応が出た方はほとんど見られず順調に終了したところである。

定員50名のところ、3月末現在47名（男性15名、女性32名）が老人福祉法に基づく措置入所をしている。入所者の平均年齢は84.9歳で前年度末の84.1歳から引き続き上昇している。また、公益事業として魚沼市の生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）を受託し、定員4名の受け入れを随時行っているが、長期入所のための試行的利用が多い。

魚沼市からの指定管理を受けた施設の管理運営は、第2期の2年度目を終え通算7年を経過、入所者の介護・医療的生活支援の需要が高まり、また施設設備の老朽化に加え設備運営基準や安全対策への不足、市街地との往来のロス、職員確保などの課題を抱え、設置者の魚沼市による改築計画の進展が期待される。

年明けを前に床暖房ボイラーの損傷が判明し、安全のため使用を停止して灯油ストーブを代用。新年度に魚沼市による更新工事が予定されている。

各施設運営にあたっては「**優しさと思いやり**」を基本理念とし、運営方針として、

- (1) 入居者にとって何が幸せかを考える。
- (2) 専門的援助技術の向上を目指し、日々修練に努める。
- (3) 地域の福祉に貢献する。

を掲げて事業を推進し、安全・安心を第一に入居者が充実した日常生活を送ることができるよう支援に努めている。

2. 法人の行う事業

- (1) 第一種社会福祉事業
養護老人ホームの経営
 - ・魚沼市養護老人ホーム南山荘特別養護老人ホームの経営
 - ・特別養護老人ホームうおの園軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営
 - ・ケアハウスやまなみ
- (2) 第二種社会福祉事業
老人短期入所事業の経営
 - ・特別養護老人ホームうおの園
- (3) 公益事業
生活管理指導短期宿泊事業
 - ・魚沼市養護老人ホーム南山荘

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

日付	報告・決議事項
6.10	理事長の業務執行状況について 業務執行理事の業務執行状況について 令和元年度科目間流用及び予備費の充当予算について 令和元年度事業報告について 令和元年度決算報告について 組織規程の変更について
	承認 承認 承認 承認

日付	報告・決議事項	
	第 60 回評議員会の決議の省略について	承認
6. 26	評議員選任・解任委員会委員の選任について ※書面決議にて開催	承認
11. 30	理事長の業務執行状況について 業務執行理事の業務執行状況について 令和 2 年度補正収支予算（第 1 号）（案）について 第 61 回評議員会の決議の省略について	承認 承認 承認 承認
2. 26	令和 3 年度事業計画（案）について 令和 3 年度当初収支予算（案）について 事務委任規程の変更について 特別養護ホームうおの園運営規程（介護老人福祉施設）の変更について 特別養護ホームうおの園運営規程（短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護）の変更について ケアハウスやまなみ運営規程（特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護）の変更について 就業規則の変更について 賃金・退職金規程の変更について 育児休業・介護休業等に関する規程の変更について パートタイマー職員就業規則の変更について パートタイマー職員賃金・退職金規程 第 62 回評議員会の決議の省略について ※書面決議にて開催	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

日付	報告・決議事項	
6. 19	令和元年度科目間流用及び予備費の充当予算について 令和元年度事業報告について 令和元年度決算報告について ※書面決議にて開催	承認 承認 承認
12. 1	令和 2 年度補正収支予算（第 1 号）（案）について ※書面決議にて開催	承認
3. 8	令和 3 年度事業計画（案）について 令和 3 年度当初収支予算（案）について ※書面決議にて開催	承認 承認

4. 監査・調査等状況

(1) 監査・調査

日付	指導・監査	監査者
5. 29	定款第 20 条第 1 項の規定に基づく監査	(福) 魚野福社会 監事
6. 17	書面指導監査 (南山荘)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
7. 20	防火対象物立入検査 (南山荘)	魚沼市消防本部
10. 30	介護サービス情報の公表制度 (うおの園)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
10. 30	介護サービス情報の公表制度 (やまなみ)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
11. 26	防火対象物立入検査 (うおの園)	魚沼市消防本部
3. 18	書面指導監査 (うおの園)	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課
4. 1- 3. 31	外部会計監査	金子公認会計士事務所

5. 受託事業 (介護認定調査件数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
魚沼市	2	3		4	2	2	2	5	3	7	2	1	33
長岡市													0
県外													0
計	2	3	0	4	2	2	2	5	3	7	2	1	33

6. 入札執行状況

なし

7. 役員及び評議員、職員状況

(1) 役員及び評議員の状況 (令和3年3月31日現在)

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	本田 建一		評議員	桐生 豊美	
業務執行理事	大淵 好文	事務局長	評議員	八木 鉄男	
業務執行理事	角家 一郎	南山荘施設長	評議員	佐藤 隆	
理事	井口 勝士		評議員	関 久一	
理事	山之内 宏		評議員	上村 輝三	
理事	草野 功		評議員	大淵 一郎	
			評議員	酒井ヨシイ	
監事	渡辺 賢一				
監事	森山 正昭				

(2) 職員入職・退職状況 (令和2年4月～令和3年3月)

区分	入職		退職	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
4月	3	2		
5月		2		
6月				
7月				
8月				
9月	2	1		
10月				
11月		2		
12月	1			
1月		2		1
2月				1
3月	1	1	2	1
計	7	10	2	3
	17		5	

入職率 15.4% 離職率 4.5%

(=増加(減少)労働者数÷年度当初の全労働者数(110人)×100)

(3) 職員配置状況 (令和3年3月31日現在)

職種	本部		うおの園		やまなみ		南山荘		計	備考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
事務局長/施設長	1		(1)		(1)		1		2	事務局長/うおの園/やまなみ兼務
医師				(2)		(1)		(2)	(4)	嘱託医 (内科/精神科)
生活相談員			4		1		3		8	社会福祉士 2名 社会福祉主事 6名
看護	2		3	4	1		1		11	看護師 7名 (出向 4名) 准看護師 4名
機能訓練指導員			1	1	1				3	作業療法士 1名 言語聴覚士 1名 准看護師 1名
栄養士			1		1		1		3	管理栄養士 3名
介護/支援員			39	6	4	10	10	3	72	介護福祉士 34名
介護支援専門員			(7)			(1)			(8)	(生活相談員 1名 介護 7名)
総務	1		1	6		1	1		10	
管理運転/庁務員			3				1	1	5	
調理							5	1	6	調理師 5名
計	4	0	52	17	8	11	23	5	120	() 内の数字は兼務または嘱託

男性 38名 女性 82名 平均年齢 48.5歳 (出向者及び派遣職員は含まない) 平均在職期間 8年2か月

特別養護老人ホームうおの園 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、令和2年度重点目標及び個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 介護

こぶし

<目標及び評価>

- 1) 相手を思いやり、相手の立場になって考える。
⇒入居者はもちろんだが、職員間でも相手を思いやり、相手の立場になって考えることがまだ少ないと感じられる。
- 2) 入居者にとって、より良い生活のために情報共有に努める。
⇒ユニット職員間で相談したり他職種の意見を聞きながら、介護システムやノートを活用して情報共有ができたと思う。
- 3) 入居者個人の幸せを考え、その人らしい生活を大切にする。
⇒プランターでトマトを育てる人や畳コーナーのコタツで過ごす人、ソファで読書をする人など、個人個人の嗜好を支援することができた。
- 4) 快適に暮らせるよう、環境整備に努める。
⇒居室の衣類整理や洗面台の掃除、ユニットキッチンや倉庫内も使用しやすいように、定期的に環境整備を行った。
- 5) マナーも含め自己研鑽に努める。
⇒施設内研修で得たことを日々活かせるよう、常に意識して業務にあたったが、マナー面では、あいさつやお礼の言葉がないなどの声がまだ聞かれる。

<次年度以降の課題等>

- ・小さなことでもその人の幸せを考え、その人らしい生活を送れるよう支援する。
- ・入居者が安心して生活が送れるように情報共有をさらに積極的に行っていく必要がある。
- ・苦情や事故を繰り返さないために、自分に置き換えて考えることも必要である。

ききょう

<目標及び評価>

- 1) 入居者、家族の目線で思いに寄り添い、意向に沿った対応を心がける。
⇒家族との面会ができない中で、入居者の思いを汲み取り、意向に沿ったケアを行うことができた。
- 2) ユニット内でのサービスを見直し改善を行い、質の向上に努める。
⇒内出血ができないように丁寧に対応し、移乗も一人ひとりによってやり方を考え、痛みのないように行った。
⇒清潔に過ごしていただくために汚染した衣類やリネンをできるだけ早く交換した。
⇒整容チェック表を作成し活用することで意識付けができた。

- 3) 入居者が楽しく、気持ちよく日々を過ごせるように正しい接遇を意識して業務に取り組む
⇒丁寧な声かけと笑顔を心がけた。
⇒家族との面会や外出ができない中で、リモート面会や電話などを工夫した。
⇒できるだけ会話の時間をつくるようにし、コミュニケーションを取ることができた（月1回のカラオケ大会、誕生会等）
- 4) 他職種との連携、情報共有を図り、入居者がより良い生活を送るための支援をする。
⇒入居者の状態変化に伴い対応が変わった場合や食事時の様子などについて気になるところがあれば、すぐに管理栄養士、ST、看護師に報告し、対応を検討することができた。
- 5) ヒヤリハットの情報を共有し、リスクの軽減に努める。
⇒個々の職員に意識の差があり、リスクを減らすことができなかった。

<次年度以降の課題等>

- ・コロナ禍で外部研修の中止が相次ぎ、知識や技術の向上が思うようにできなかった。専門的知識・技術をもっと習得し、現場で実践できるようにする必要がある。
- ・コールが重なってしまった時などは嫌な表情が出たり、荒い言葉遣いになってしまったり、また、関りを深めていく中で馴れ馴れしい言葉遣いになるなどの課題がある。
- ・記録忘れや言葉不足で、まだまだ情報共有が不十分であると感じている。
- ・同様のヒヤリハットや事故が繰り返されており、リスクの軽減に対する課題が多く残っている。

ぶな

<目標及び評価>

- 1) 本人や家族とのコミュニケーションを大切にし、意向を尊重したケアを行う。
⇒面会制限が多かったが、直接面会ができていた時は普段の様子を的確に伝えるよう心がけた。
- 2) 入居者が安心できるような言葉使いや思いやりのある対応をする。
⇒入居者が不快な気持ちにならないよう、関わる際には丁寧な態度や言葉使いを心がけた。
- 3) 他職種との連携を図り、情報の共有を行う。
⇒入居者の状態について、介護システムへの記録や口頭での報告を行い、疑問に思うことはその都度他職種に確認していたがヒヤリハットの対応についてはユニットスタッフ間での情報共有ができていないことがあった。
- 4) 介護職としての必要な知識を学び、向上した技術を現場で実践する。
⇒コロナのため外部で学ぶ機会が減ったが、今まで研修で学んだことは出来る限り実践していくよう努めた。また、施設内研修に積極的に参加し、ケアに活かした。
- 5) ユニット内の環境整備を図る。
⇒部屋やユニットの片づけが追い付かず、異食や収集癖について未然に防ぐことができない原因となった。
⇒ユニットの飾りつけなどまで手が回らず、季節感のないユニットになっていた。

<次年度以降の課題等>

- ・入居者の立場になって考え、情報を共有してヒヤリハットを減らしていく必要がある。
- ・入居者、家族の意向を汲み取り、尊重したケアを行っていく。

しゃくなげ

<目標及び評価>

- 1) 入居者も職員も笑顔で過ごせるよう、相手を尊重した言葉使いで接する。
⇒みんなが笑顔で過ごせるよう、親しみやすい言葉がけをしつつも、相手を尊重するよう努めた。
- 2) システム活用、申し送り、ヒヤリハット対策の情報を共有する。
⇒内出血など繰り返すヒヤリハットは対策情報を共有し、入居者の着替え時のヒヤリハットが減るよう、服のリメイクなどの工夫をした。
- 3) 職員同士で何でも話し合える環境づくりに努める。
⇒意見を交わし、コミュニケーションを取る場をつくり、職場の風通しを良くするようにした。
- 4) 専門的な知識・技術を学び実践する。
⇒コロナ禍で研修会等の開催が減り、学ぶ機会が少なくなったのは残念であった。

<次年度以降の課題等>

- ・24時間シートを通して一人ひとりに合った生活リズムを実践していく。
- ・コロナ禍で行事等が少なくなった分、個々の入居者と関わる時間を増やしていきたい。
- ・日常的に意見を交わせるよう、今後も夜勤前のミーティングを継続する。
- ・Web研修の機会が増えてきている。積極的に参加して技術の向上に努める。

八海山

<目標及び評価>

- 1) 優しさと思いやりを持ち、相手を尊重した言葉使いを心がける。
⇒呼び名を本人に聞き、対応することで職員間の統一もできてよかった。
- 2) 他職種と連携し情報共有し、入居者が気持ちよく過ごせるよう支援する。
⇒その都度連携を図り、個々に対応することができた。
- 3) 研修に参加し、知識を深めて日々のケアに活かす。
⇒様々な研修に参加することで、高いスキルを持ってより良いサービス提供ができるよう努めた。
- 4) ヒヤリハットの再発防止に努める。
⇒情報共有できるようにファイルにし、その後の対応の徹底に努めている。
- 5) 居室、ユニット内の環境整備を行う。
⇒担当者の役割を提示したが、ベッド下や棚掃除などができないこともあった。

<次年度以降の課題等>

- ・言葉使いについてはあいまいな面があるが、呼び名のように本人の意向や職員間の統一が図れるような具体的なものを考えていく。
- ・今後も他職種間との連携を図り、個々に応じた対応をしていくため、日ごろからの情報共有が必要である。また、お互いに意見を言うことができる環境にしていく必要がある。

- ・どのような研修が必要なのか等の意見を聞いていく。
- ・ヒヤリハットを重視し、大きな事故にならないようにしていく。
- ・担当としてやるべきことを再確認しながら環境整備を実行する。

駒ヶ岳

<目標及び評価>

- 1) 入居者にとって何が幸せかを考える。
⇒入居者の全ての希望を叶えることは難しいが、偏りがないように全体を見てできるだけ希望に添えるようにしてきた。
- 2) 入居者の状態や状況が分かる記録を作成し、情報を共有する。
⇒まだ記入漏れや分かりづらい記録があった。
- 3) 高齢者福祉に関わる職員としてスキルの向上に努める。
⇒勉強会や施設内研修では、毎回全員が参加できるよう心がけた。
- 4) 虐待に対する意識を高め、職員相互で確認していく。
⇒虐待防止に対する意識は高くなっており、普段の行動に注意している職員が増えた。

<次年度以降の課題等>

- ・具体的な不適切ケアの確認を、より詳しく職員相互で確認していく必要がある。
- ・話し合ったことの介護システムへの記入漏れがないか、記録した情報に間違いがないか等を職員同士で確認する習慣が必要である。

中ノ岳

<目標及び評価>

- 1) 言葉使いや態度に気を付け、基本理念を守って入居者に接する。
⇒日々の“明るく声かけ”は出来ていたが、言葉使いが友達口調になっていることがあった。特に利用頻度の高い利用者に対して馴れ馴れしく関わっていたことがあった。
- 2) 施設利用の理由を理解し、安定的な稼働を促す。
⇒個別の情報をしっかり確認し、利用目的に沿ったケアが提供できていたと思う。
- 3) 情報伝達を確実にし、入居者、家族に不信感を与えないよう的確なサービスの提供に努める。
⇒自分の思い込みで聴き取ってしまい、正しい情報が伝わらないこともあったが、付せん紙やメモ等の活用により以前よりスムーズに正確な情報が伝わるようになった。
- 4) 個々の知識・技術を高めていき、ユニット全体でのスキルアップに努める。
⇒職員間での声のかけ合い、相談、確認を行うことで知識、技術が少しずつ向上してきている。安全な移乗ができるように進歩してきている。

<次年度以降の課題等>

- ・職員の人数が少ないように感じることもあるが、効率的に業務を行えるようにしていきたい。
- ・必要な情報を正確に伝え、共有していきたい。
- ・職員同士で気が付いたことは注意や意見が言える雰囲気を作っていきたい。
- ・感染対応の知識・技術を高め、入居者の安全につなげたい。

(2) 看護

<目標及び評価>

- 1) 入居者の健康管理に努める。
⇒入居者の定期健診等で健康状態を把握しながら、受診や経過観察を行うことができた。
- 2) 状態変化時は速やかに家族に連絡し、意向を確認しながら対応する。
⇒家族の意向を確認しながら、体調不良時の受診や看取り介護等につなげることができた。
- 3) 他職種と密に相談し合い、入居者のニーズに対応する。
⇒他職種と連携しながら入居者のニーズに対応することができた。
- 4) 入居者が笑顔になれるように思いやりを持って優しく対応する。
⇒入居者が笑顔になれるように声かけを心がけた。
- 5) 職員間で声をかけ合いながら不適切なケアを防ぐ。
⇒処置等を行うときは必ず声かけをするなど、入居者の意向や反応を確認しながら対応した。

<次年度以降の課題等>

- ・看護の役割の中でも薬関係のヒヤリハットが増えている。落ち着いて確認作業を行うなど業務の基本に立ち返って行うことが大切である。
- ・常勤看護員が少ないため日常業務や急変者の対応が煩雑になり、担当者会議や委員会への出席が疎かになりがちである。

(3) 生活相談

<目標及び評価>

- 1) 稼働率を安定させる。
⇒コロナ関係でキャンセルが多かったが、ある程度の稼働率を確保できた。
- 2) 多職種との連携を図り、円滑な業務遂行に努める。
⇒多職種との連携を常に心がけ、協力し合ったおかげで業務全体が円滑に進んだ。
- 3) 事故を未然に防げるように情報の共有確認をしていく。
⇒防ぐことができた事故も多くあったと思われる。関係職員全員が認識しておくべき対応策が必ずしも共有されていなかった。
- 4) 高品質なサービス提供を行う。
⇒事故が多く発生してしまい、安全・安心の高品質サービスの提供ができたとは言えない結果であった。
- 5) 人材育成に努め、スキルの向上と統一されたケアを目指す。
⇒情報を共有し、統一すべきケアは統一して職員の混乱を招かないようにしたいが、難しい面がある。

<次年度以降の課題等>

- ・稼働率が高位で安定するように、今年度の反省・評価をしっかりと行う必要がある。
- ・加入した「米ねっと」や関係ケアマネからの情報を共有するよう努める。
- ・事故を減らすための助言や支援を行うことができる知識・技術の習得を目指す。

(4) 介護支援専門員

<目標及び評価>

- 1) 本人や家族の意向を尊重した施設サービス計画を作成する。
⇒各ユニットの担当者が本人の意向を確認し、家族にはそれを伝え、意見を求めた。概ね意向に沿った計画書を作成することができた。
- 2) 看取り介護も含め、多様なニーズに対応できるよう多職種との連携を保ち、バランスの取れた施設サービス計画を作成する。
⇒カンファレンスや担当者会議で個別のニーズに対応できるよう、他職種含めて話し合い、バランスの取れた計画書の作成ができた。
- 3) 職員が施設サービス計画を理解しケアを行うことができるよう、また、立案の知識が広がるよう指導助言する。
⇒ユニットケアマネの手が回らない状況があり、担当者から直接プラン立案について依頼が来るときは、担当者と一緒に立案した。各自が作成のための流れを理解し、プランを立案することは実際のケアにつながっていくと思うので、今後も繰り返し伝えていくことが必要である。
- 4) 介護支援専門員の資格取得者が増えるように支援する。
⇒資格取得促進の一助となる「受験受講会費補助規程」の周知の仕方が足りない面もあった。
- 5) 研修等に参加し、知識を取得する。
⇒コロナのため、内部研修やオンライン研修が多かった。認定調査については市のeラーニングシステムを活用し理解を深めることができたため、修正や不足情報の問い合わせが激減した。

<次年度以降の課題等>

- ・ユニットケアマネがユニット職員にプランの立案についての指導・助言がなかなかできない環境にあるようなので、プランができたなら掲示板に掲げて多職種よりサービス担当者会議前に意見をもらい、追加や修正ができるようにしたい。

(5) 機能訓練

<目標及び評価>

- 1) 入居者の安全を第一に考えて活動に取り組む。
⇒大きな事故等がなく活動を実施できた。
- 2) 入居者、家族及び職員に対して積極的にコミュニケーションを図る。
⇒積極的に入居者とのコミュニケーションづくりに取り組めた。家族に対しては、コロナ対策の関係上、交流することができなかった。
- 3) 機能訓練計画は入居者が心身ともに健康で、張り合いを持って楽しくできるような内容を立案し、実施する。
⇒コロナ対策で制限のある中、できる範囲での取り組みとなった。
- 4) リハビリは多職種で連携を取り、チームで質の高いサービス提供に努める。
⇒見守り等の人員配置に課題が残るが、他職種と協力しながら実施できた。
- 5) 内・外部での研修会に参加して自己研鑽し、法人内だけでなく地域社会にも貢献する。
⇒コロナ禍のため内部研修だけの参加であった。

<次年度以降の課題等>

- ・安全に活動が進められるように、各活動時に活動時間を通して見守り、声かけ、誘導等の職員の配置が必要である。

(6) 栄養

<目標及び評価>

- 1) 一日でも長く口から安全に食事が出来るよう、他職種連携に努める。
⇒入居者の今の状態を見て、本人に合った食事形態を職員で話し合い、提供することができた。
- 2) 入居者の希望や季節感を取り入れ、家庭的な雰囲気が味わえる食事づくりに努める。
⇒行事食は普段より量も多いが、皆さんに喜んで食べていただけたと思う。
- 3) 入居者の栄養状態を反映させた栄養ケア計画を作成し、他職種協働で取り組む。
⇒毎月の担当者会議での意見や日々の職員の『気づき』を参考に、計画書の作成ができた。

<次年度以降の課題等>

- ・味付けに関して多くの方から意見をもらい、皆さんが“おいしい！”と思える食事にしてほしい。

(7) 総務

総務

<目標及び評価>

- 1) 窓口対応、電話の取り次ぎなどスムーズにできるようにする。
⇒来客の予定など、あらかじめ担当の職員に連絡をとり、スムーズに対応することができた。
- 2) 倉庫内、事務室内の整理整頓
⇒事務室内の整理整頓がよくできなかったもので、日々心がけるようにしたい。
- 3) 備品等に不足がないようにする。
⇒週末または週初めに備品を確認することで不足が出ないようにした。

<次年度以降の課題等>

- ・相手に不快な思いをさせないような窓口・電話対応をしていく。
- ・倉庫内及び事務室内の整理整頓と適正な在庫管理を行う。
- ・他職種とのコミュニケーションや連携を図る。

管理運転

<目標及び評価>

- 1) 施設設備の保守・点検に努める。
⇒入居者に迷惑がかからないよう、不備が見つかり次第早急に業者と連携を取り対応した。
- 2) 送迎時の交通ルール、マナーを厳守し、安全運転を徹底する。
⇒利用者の安全を保つにはどのようにしたら良いかを常に内部で検討し、安全対策を実施した。

<次年度以降の課題等>

- ・施設設備の的確な保守管理を引き続き行い、設備機器の安全な稼働に配慮していく。
- ・送迎時におけるヒヤリハットを意識し、リスクの確認を怠らない。
- ・災害時の地域相互協力体制を構築していく。

以上、これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別	指定番号	有効期限	事業開始日
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 定員 70 名	1572300273	H34. 3. 31	H16. 4. 1
(介護予防) 短期入所者生活介護 (老人短期入所事業) 定員 16 名	1572300158	H34. 3. 31	H16. 4. 1

3. 利用状況

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

ア 要介護度別・年齢別・男女別入居者数（R3.3.31現在）

区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計	
～ 64 歳	男								0
	女								
65～ 69 歳	男					1		1	1
	女								
70～ 79 歳	男					1		1	6
	女			1	1	3		5	
80～ 89 歳	男				2	4		6	23
	女			2	4	11		17	
90～ 99 歳	男				2	3		5	35
	女			3	11	16		30	
100～ 歳	男				1			1	4
	女				1	2		3	
計	男				5	9		14	69
	女			6	17	32		55	
	計	0	0	6	22	41		69	

平均要介護度…男性 4.6/女性 4.4/全体 4.5

平均在園期間…3年3か月 平均年齢…男性 87.2 歳/女性 90.1 歳/全体 89.5 歳

最高年齢…男性 101 歳/女性 107 歳 最低年齢…男性 66 歳/女性 70 歳

待機者数…146 人

イ 障害高齢者の日常生活自立度及び認知症高齢者の日常生活自立度

日常生活自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
J2									0
A1					1		1		2
A2				3	4	1			8
B1				1	2				3
B2				1	13	1	13	1	29
C1			1			2	3		6
C2					3	1	16	1	21
計	0	0	1	5	23	5	33	2	69

ウ 要介護度別入居者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度 1													0
要介護度 2													0
要介護度 3	8	8	10	9	9	9	9	7	7	6	6	6	94
要介護度 4	24	26	25	25	26	24	27	27	27	24	24	23	302
要介護度 5	39	34	35	36	34	35	35	37	36	38	40	41	440
計	71	68	70	70	69	68	71	71	70	68	70	70	836

平均要介護度 4.5

エ 要介護度別入居者利用状況（延べ基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度 1													0
要介護度 2													0
要介護度 3	237	248	281	279	279	260	267	187	191	186	168	186	2,769
要介護度 4	633	755	722	767	760	667	722	733	789	689	598	641	8,476
要介護度 5	980	972	1,013	1,079	1,005	976	1,046	1,052	1,038	1,063	1,054	1,194	12,472
計	1,850	1,975	2,016	2,125	2,044	1,903	2,035	1,972	2,018	1,938	1,820	2,021	23,717

稼働率 92.8%

オ 入退居・外泊・入院延べ日数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居数	6	3	3	2	1		3	2	2	2	3	2	29
退居数	6	1	2	1		2	2	2	4	2	1	2	25
外泊数				3		2	8	5					18
入院数	76	82	64	21	133	192	99	103	97	140	110	113	1,230

入居内訳…在宅 3名 老健 16名 病院 7名 グループホーム 1名 その他 2名
 退居内訳…在宅 2名 死亡 23名

カ 月別他科受診・往診状況（定期往診は除く）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	5	5	2	4	5	9	3	2	7	7	4	5	58
外科	1			1			1		1				4
泌尿器科											1	2	3
整形外科	2	2	1	4	3		2	1		3		2	20
眼科		1			1				1			1	4
皮膚科	4	1	8	4	2	4	2	2	7	3	1	1	39
歯科		1		7		8	8	2		5	2	5	38
その他	4	3	1	3	4	3	2	8	2	1	5	4	40
計	16	13	12	23	15	24	18	15	18	19	13	20	206

キ 入院期間

区分	20日以下	21～40日	41～60日	61～80日	81日以上	計
男性	3	5		1		9
女性	23	21	1			45
計	26	26	1	1	0	54

(2) (介護予防) 短期入所生活介護 (老人短期入所事業)

ア 要介護度別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1													0
要支援 2			1	1	1	1	2	1	1		1	1	10
要介護度 1	9	13	11	11	13	11	15	11	14	12	13	11	144
要介護度 2	23	23	23	23	26	26	22	21	21	18	19	16	261
要介護度 3	11	14	10	14	13	11	9	11	10	10	9	10	132
要介護度 4	14	13	14	12	12	11	11	11	12	12	9	11	142
要介護度 5	8	8	9	8	7	6	9	7	8	10	10	10	100
計	65	71	68	69	72	66	68	62	66	62	61	59	789
平均要介護度 2.8													

イ 要介護度別利用者延べ数 (空床利用含む)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1												5	5
要支援 2			5	3	3	3	5	4	2		8		33
要介護度 1	56	79	58	66	63	76	67	64	79	67	71	61	807
要介護度 2	164	129	137	143	181	167	169	146	152	142	144	138	1,812
要介護度 3	54	88	70	79	84	43	47	73	51	76	57	60	782
要介護度 4	129	107	117	107	112	109	94	93	114	111	92	120	1,305
要介護度 5	68	50	65	52	41	46	59	52	56	66	69	82	706
計	471	453	452	450	484	444	441	432	454	462	441	466	5,450
稼働率 93.3%													

(3) その他

ア 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
老福施設	37	20	85	242	52	295	346	147	7	3	24	32	1,290
短期生活		1	2	8	1	2	2	3			1		20
計	37	21	87	250	53	297	348	150	7	3	25	32	1,310

イ ボランティア受入れ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	1												1

ウ 職員出張件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数				1			7	5	4	4	8	1	30
参加者				1			9	9	7	4	8	1	39

エ ひやりはつと件数
介護老人福祉施設

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒		2		1	3	2	3		1	1	1	5	19
転落	3	6	1	6	7	3	5	3	3	3	6	4	50
外傷	31	19	25	13	25	21	8	7	26	13	7	20	215
窒息						1							1
薬	2	1	3		2	1	3		4	1		2	19
チューブ	2			1							1	1	5
処置									1				1
異食		2					1			1			4
紛失・破損	2		1			2		1	1	1	1		9
記録								1					1
その他	1	2	5	1	4	2	7	1	2	2	4	5	36
計	41	32	35	22	41	32	27	13	38	22	20	37	360

(介護予防) 短期入所生活介護

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒		2	1		3	1	1	1		2	2	2	15
転落	1	3	1		1								6
外傷	4	1	2		1	2		1				1	12
窒息	1												1
薬		4	1		2	1	3	2	1	2	2	1	19
紛失・破損						1		1		1			3
エレベータ				1		1							2
その他	2	1	3	1	3		1	1	2				14
計	8	11	8	2	10	6	5	6	3	5	4	4	72

オ 苦情・意見及び要望受付件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受付件数													0

カ 実習生受入数

学校名等	研修者数
北里大学老年看護学実習	4名

4. 会議・研修・行事状況
別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物、設備の点検・修理

- ・防災設備点検
- ・衛生空調設備点検
- ・警報システム点検
- ・電気設備点検
- ・エレベーター点検
- ・浴室水質検査
- ・ナースコール設備移設工事
- ・エレベーター2基制御盤内定電圧電源工事
- ・冷温水系統補給水修理
- ・ファンコイル集中操作盤修理
- ・蓄電池交換
- ・構内第1柱上PAS及びLA工事

(2) 車両関係点検・修理

- ・車検時修理
- ・ロータリー部品交換

(3) 備品の点検・修理

- ・センサーマット修理
- ・シャッター交換
- ・給水ポンプ部品交換
- ・特浴部品交換
- ・3階個室浴部品交換
- ・空調リモコン
- ・機械室外部水栓修理
- ・給湯管不良部品交換
- ・3階洗濯機修理
- ・配管水漏れ修理
- ・1階自動水栓不良部品交換
- ・電動ベッド電源BOX交換
- ・GHP1号機インターバル部品交換
- ・2階ファンコイル集中盤交換
- ・iphone

(4) 備品の購入

- ・PHS
- ・リクライニング車椅子
- ・コールマットコードレス
- ・サイドコールコードレス
- ・ミキサー

(5) リース開始物件
なし

ケアハウスやまなみ 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、令和2年度重点目標及び個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 介護

<目標及び評価>

- 1) 入居者の感情に寄り添った対応をする。
⇒入居者の思いを理解し、寄り添い関わることができた。
- 2) 入居者の尊厳を傷つけることのないように対応する。
⇒悪気なく伝えたことが、相手にしてみたら不快に思われてしまったことがあった。
- 3) 入居者とコミュニケーションを取り、個々に合ったプランを作成する。
⇒入居者の考えに沿ったプラン作成は出来ていたが、日々の業務の中で、プランに沿ったケアができていないことがあった。
- 4) 職員間で情報共有する。
⇒周知して欲しいことはケース記録に目立つように色を付けて入力した。
⇒自分本位の考えではなく、職員間で相談してからケアすることができた。

<次年度以降の課題等>

- ・今後も言葉がけ、思いやりを大切にする。
- ・より良いケアのために職員間で情報共有に努める。
- ・報告・連絡・相談を心がける。

(2) 看護

<目標及び評価>

- 1) 笑顔で優しく寄り添いながら、心身の健康管理に努める。
⇒笑顔で優しく接するよう心がけ、本人の意向に寄り添いながら心身の体調管理を行った。
- 2) 本人らしい暮らしが続けられるように対応する。
⇒感染対策で制限がある中、可能な限り本人の望む暮らしに応じられるよう対応した。
- 3) 個々のニーズに応じられるよう、他職種とのつながりを意識する。
⇒個々の話を傾聴しながらニーズを把握し、充足できるよう他職種との連携を心がけた。
- 4) 緊急時に備え、医・福との連携の強化に努める。
⇒多職種で日頃から緊急時の訓練をし、急変時も連携を取りながら対応できた。
- 5) 「安心して過ごせるやまなみ」であるために、日々の環境整備を他職種と共に取り組む。
⇒事故防止、感染予防を中心に安心できる環境を整えられるよう他職種と共に取り組むことができた。

＜次年度以降の課題等＞

- ・「特定入居」の入居者が多くなり、一段と心身の健康観察を密にし、異常の早期発見・対応に努める必要がある。
- ・入居者がその人らしく安心して生活できるよう多職種と連携・協力をしながら対応していく必要がある。

(3) 生活相談

＜目標及び評価＞

- 1) 入居者、家族からの相談に対して、適切に助言や支援を行えるように相談援助技術の向上に努める。
⇒話すスピードに気をつけ、入居者、家族の立場に立って話すことを心がけながら相談に応じることができた。
- 2) 入居者、家族からの相談や援助内容を記録し、情報の共有化に努める。
⇒記録を後回しにせず、情報共有に努めることができた。
- 3) 個々の希望に沿った楽しみが持てるような外出を支援する。
⇒外出制限があった中で、できる限りの支援を行った。

＜次年度以降の課題等＞

- ・入居者の個々に異なる生活スタイルを尊重する。
- ・コロナ禍の中、家族との連絡・連携を怠らない。
- ・話す場所や声の大きさなどに注意し、個人情報の保護に努める。

(4) 機能訓練

＜目標及び評価＞

- 1) やまなみでの日常生活で、入居者にとって生きる張り合いを持てるような支援を心がける。
⇒思うような支援にならない場面もあったが、その場に応じて楽しみを持ってもらえるような支援も少しはできた。
- 2) その人にとって何が必要なのか等を考えた上で個別支援に取り組む。
⇒相手によってうまくできたと思われる支援とそうでない支援になってしまい、バラつきが出てしまったように思う。
- 3) ボランティアや地域と連携を取りながら、外部支援や交流を受け入れる。
⇒コロナ禍でボランティアの依頼ができず、思うように外部からの刺激を受けることができなかった。
- 4) 入居者との関わりの中で、他職種と協力し、共通理解のもと適切な対応を心がける。
⇒他職員の協力のもと、日々の行事やレクリエーション等は目標をある程度達成できた。
- 5) 専門職としての知識を深め、入居者個々の様子を観察しながらサービス提供を行う。
⇒言葉足らずなどのスキル不足が原因で、うまく相手に伝わらない事もあった。

＜次年度以降の課題等＞

- ・コロナ禍が続く中で、楽しみが持てるような行事を計画し・実施する。
- ・ボランティアの依頼ができない状況のため、多職種で協力し、共通認識の下でイベント等を行い、ストレス解消のきっかけづくりを支援する。
- ・専門職としてのスキルアップを図る。

(5) 栄養

＜目標及び評価＞

- 1) 食事を通して健康、体力、生きがいにつながるよう他職種と連携しながら取り組んでいく。
⇒年齢に比例した体力の低下は見られが、極端に体重が減っている方は見られない。
⇒「食べることが楽しみ」と言ってくれる入居者もいるが、30名すべてではないので難しいところもある。
- 2) おいしい食事と喜ばれる献立づくり。
⇒残食量を毎食記録しており、献立の人気などを確認しながら調理員の意見なども組み込み、おいしいと喜ばれる食事づくりができたと思う。
- 3) 入居者、家族、地域住民と食事を通して連携・協力していく。
⇒野外食、防災食、忘年会など、家族、地域との交流が図れない状況であるが、今後できるだけ食を通して連携できる取組みを続けたい。

＜次年度以降の課題等＞

- ・食を通しての地域のつながりがコロナ禍では難しいが、今後もどのように関わったらよいか考えていく必要がある。

以上、これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別		指定番号	有効期限	事業開始日
軽費老人ホーム (ケアハウス)	定員 30 名	—	—	H20. 4. 1
(介護予防) 特定入居者生活介護		1572300612	R8. 3. 31	H20. 4. 1

3. 利用状況

ア 要介護度別・年齢別・男女別入居者数 (R3.3.31 現在)

区分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	一般	計	
～64歳	男								0
	女								
65～69歳	男			1				1	2
	女						1	1	
70～79歳	男						1	1	1
	女								
80～89歳	男			3			3	6	16
	女	1	1	4	1		3	10	
90～99歳	男			2				2	10
	女	2	2	3			1	8	
100歳～	男								1
	女				1			1	
計	男			6			4	10	30
	女	3	3	7	2		5	20	
	計	3	3	13	2	0	9	30	

要支援…6名 要介護者…15名 一般…9名
 平均要介護度…男性 1.0/女性 0.8/全体度 0.9
 平均在園期間…4年6ヶ月 平均年齢…男性 86歳/女性 88.2歳/全体 87.5歳
 最高年齢…男性 94歳/女性 102歳 最低年齢…男性 69歳/女性 67歳
 待機者数…36名

イ 入居者利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居	22	22	22	23	22	22	22	22	22	22	20	21	262
一般入居	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	11	9	100
計	30	30	30	31	30	30	30	30	30	30	31	30	362

ウ 入居者利用日数（外泊・入院含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居	655	682	660	691	682	660	682	660	682	682	554	651	7,941
一般入居	234	210	232	223	248	240	248	240	248	248	240	270	2,881
計	889	892	892	914	930	900	930	900	930	930	794	921	10,822

稼働率 98.83%

エ 要介護度別入居者数（基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	30
要支援2	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	3	3	44
要介護度1	12	12	12	14	14	13	13	13	13	13	13	13	155
要介護度2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	29
要介護度3	1	1	1	1									4
計	22	22	22	23	22	22	22	22	22	22	20	21	262

平均要介護度 0.9

オ 要介護度別入居者延べ数（基本報酬算定人数）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	90	93	90	93	93	60	62	60	62	62	56	93	914
要支援2	120	124	120	93	93	120	124	120	124	93	84	93	1,308
要介護度1	355	369	360	434	434	390	403	390	403	403	343	372	4,656
要介護度2	60	62	60	62	62	90	93	90	93	73	56	62	863
要介護度3	30	31	30	9									100
計	655	679	660	691	682	660	682	660	682	631	539	620	7,841

カ 入退居

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特定入居数		1									1		2
一般入居数		1	1	1							1	1	5
特定退居数	1			1						1			3
一般退居数	1	1									2		4
入居内訳…在宅6名 有料老人ホーム1名 退居内訳…在宅2名 特養1名 老人保健施設1名 グループホーム2名 死亡1名													

キ 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会数	5	9	33	41	14	41	43	34	23	22	25	32	322

4. 会議・研修・行事状況
別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物の設備の点検、修繕

- ・防災設備点検
- ・衛生空調設備点検
- ・警報システム点検
- ・電気設備点検
- ・エレベーター点検
- ・浴室水質検査
- ・浴槽設置
- ・浴室タイル、天井張替え
- ・浴室換気乾燥機設置
- ・浴室手すり設置
- ・LED照明
- ・消雪配管水布施替工事
- ・受水槽配管修繕」

(2) 車両関係点検・修理

- ・車検時修理

(3) 備品の点検・修理

- ・スプリンクラー設備フート弁交換
- ・機械室給湯バルブ交換
- ・ガスヒートポンプエアコン部品交換
- ・給湯ポンプ部品交換

(4) 備品の購入

- ・PHS
- ・衣類乾燥機
- ・ノートパソコン
- ・コールドテーブル冷蔵庫
- ・配膳カート
- ・洗濯機

(5) リース開始物件

なし

別紙

1. 避難訓練

日時	内容
9. 25	(昼間想定) 消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練
3. 5	水害訓練 川の氾濫時の対応 避難訓練
3. 25	(夜間想定) 消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練

2. 調査報告

特別養護老人ホームうおの園

報告日	報告件名	提出先
4. 7	認定調査員の資格確認について	魚沼市市民福祉部介護福祉課長
4. 30	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 第 53 条の 2 の規定に基づく定期健康診断の徹底について	新潟県魚沼保健所長
5. 28	災害発生時における社会福祉施設等の被災状況の把握等について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
6. 8	新型コロナウイルス感染症に係る在宅療養を支援する事業者緊急調査の実施について	魚沼市在宅医療推進センター
6. 26	社会福祉法第 59 条に基づく書類の届出等について	魚沼市長
6. 29	経済構造実態調査	総務省・経済産業省
7. 2	介護保険施設入所者数調査及び施設生活環境改善希望調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
7. 2	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言下における口腔健康管理に関する調査	新潟大学医歯学総合研究科
7. 13	令和 2 年度看護職員需要施設実態調査	公益社団法人新潟県看護協会
7. 31	新型コロナウイルス感染症対策に係る要望調査	魚沼市市民福祉部副部長
8. 3	特別養護老人ホーム等における配置医師に係る情報提供について	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課長

報告日	報告件名	提出先
8.16	介護保険施設等における非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施に関する状況調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
8.20	令和元年度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査及び新型コロナウイルスによる収支への影響調査	新潟県老人福祉施設協議会
9.4	高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
9.14	実践者研修・実践リーダー研修のアウトカム評価を中心とした介護保険施設・事業所等調査	認知症介護研究・研修仙台センター
9.17	ハッピー・パートナー企業の取組状況等に関するアンケート調査	新潟県県民生活・環境部 男女平等社会推進課長
9.17	新潟県内の介護人材U・Iターン実態調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
9.25	令和3年度報酬改定に向けた特別養護老人ホームにおける実態についての調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
9.25	2021年版 新潟県会社要覧について	新潟経済社会リサーチセンター
10.14	令和2年医療施設静態調査	新潟県魚沼保健所長
10.16	「認知症の方の行動・心理症状を緩和するための非薬物療法・対応の実態把握」に関する調査	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
10.21	新型コロナにかかる支出への影響調査	厚生労働省
10.22	介護人材に関するアンケート調査	独立行政法人福祉医療機構
10.23	福祉サービス第三者評価結果を活用したサービス実践ガイドラインの構築についての調査	亀田医療大学
11.18	高齢者福祉施設の避難確保における実態調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
11.27	社会福祉施設等の耐震対策及び安全点検状況及び非常用自家発電整備状況のフォローアップ調査	新潟県高齢福祉保健課介護サービス係
12.7	新潟医療福祉大学大学院研究への協力について	新潟県老人福祉施設協議会

報告日	報告件名	提出先
12. 8	昇降機・定期検査報告書作成について	東芝エレベータ株式会社
12. 16	特別養護老人ホームにおける感染対策に関する研究へのご協力をお願い	日本赤十字豊田看護大学
1. 13	医療保健関係資格者の届出票の提出について	新潟県魚沼地域振興局健康福祉部長
1. 15	退院支援・連携に関するアンケート調査	魚沼市立小出病院医療連携室
1. 20	令和2年度 労働災害動向調査	厚生労働省
1. 21	にいがたバリアフリーガイドマップ掲載情報の更新について	新潟県福祉保健部障害福祉課長
2. 16	「介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会」出席確認	新潟県高齢福祉保健課
2. 26	入退院支援連携ガイドのアンケートについて	在宅医療推進センター
3. 9	令和2年度新規採用者及び退職者数の調査	魚沼市市民福祉部介護福祉課長

ケアハウスやまなみ

報告日	報告件名	提出先
4. 10	令和元年度福祉行政報告例の提出について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課介護サービス係長
5. 28	災害発生時における社会福祉施設等の被災状況の把握等について	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
6. 1	新型コロナウイルス感染症に係る在宅療養を支援する事業者緊急調査の実施について	魚沼市在宅医療推進センター
7. 2	特定施設入居者数調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
8. 16	軽費老人ホーム事務費及び生活費に関する調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長
8. 16	介護保険施設等における非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施に関する状況調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長

報告日	報告件名	提出先
9.15	建築基準法第12条第1項に規定する「建築物の定期調査報告書」又は同条第3項に規定する「建築設備等の定期検査報告書」の提出について	新潟県土木部都市局建築住宅課長
9.16	高齢者施設等におけるPCR検査等の体制整備にかかるアンケートについて	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課長
10.15	令和2年介護サービス施設・事業所調査	厚生労働省
11.30	軽費老人ホーム利用人員見込み等について	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課介護サービス係長
12.7	施設におけるWebシステム環境調査	新潟県老人福祉施設協議会
12.23	ニトリル製手袋の緊急配布について	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課長
1.13	医療保健関係資格者の届出票の提出について	新潟県魚沼地域振興局健康福祉部長
2.16	新潟県軽費老人ホーム補助金に係る契約の調査	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課介護サービス係長
2.16	高齢者施設等における検査体制の構築について	新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課長
2.19	入退院支援連携ガイドのアンケートについて	在宅医療推進センター
3.9	新型コロナウイルスワクチン接種に関する意向調査	魚沼市市民福祉部 介護福祉課長

3. 研修会一覧

(1) 出張研修

特別養護老人ホームうおの園

出張日	件名	参加数
7.20	看護現場で活かせるフィジカルアセスメント 高齢者編	1
10.7	福祉施設等給食施設担当者研修会	1
10.16	処遇改善活用例セミナー (Web研修)	1

出張日	件名	参加数
10.16～11.4	ケア・プラス・コーチング (Web 研修)	3
10.20	人材育成・定着セミナー (Web 研修)	1
10.21	「楽語い講座 2020」魚沼市における身寄りのない人への支援に関するガイドライン (Web 会議)	1
10.29	障がい者就職面接会「障がい者との出会いの場」	1
10.31 11.5	新潟県喀痰吸引指導者講習	1
11.13	令和2年度企画研修 第2回研修会 (Web 研修)	1
11.18	「楽語い講座 2020」感染症対策について (Web 会議)	2
11.27～12.3	自立支援介護研修基礎	2
12.1	接遇研修 (リーダーコース) (Web 研修)	3
12.9	「楽語い講座 2020」高齢者・施設入所者等で摂食嚥下機能が低下した場合の支援 (Web 会議)	1
12.21	令和2年度 中長期計画策定セミナー (Web 研修)	1
1.6	「楽語い講座 2020」フレイルを予防しよう (Web 会議)	1
1.14	事務職員研修 (Web 研修)	1
1.22	令和2年度企画研修 第4回研修会 (Web 研修)	1
1.29	介護ロボット全国フォーラム (Web 研修)	1
2.1	令和2年度管理者研修会 (Web 研修)	1
2.2	令和2年度新潟県経営協セミナー (後期) (Web 研修)	1
2.2	福祉関係者のための成年後見制度研修会	1
2.4	職場環境改善等オンラインセミナー	1
2.4	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会 (Web 研修)	1
2.8	令和2年度社会福祉法人会計実務者決算講座 (Web 研修)	1

出張日	件名	参加数
2.22	うおぬま・米ねっと「Team」操作方法説明会（Web 会議）	1
2.24	令和2年度ふくしの保険セミナー『福祉施設におけるBCP』（Web 研修）	1
3.15	令和2年度 災害福祉広域支援セミナー（Web 研修）	1

ケアハウスやまなみ

出張日	件名	参加数
10.7	福祉施設等給食施設担当者研修会	1
11.27	令和2年度企画研修 第3回研修会（Web 研修）	2
11.24 12.2～3 12.10～11	令和2年度 新潟県介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅱ	1
2.26	高齢者施設における新型コロナウイルスワクチン接種に係る説明会	1

4. 年間会議/委員会等実施報告書

(1) 会議/委員会実施状況

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
4月	3	安全対策委員会	8	褥瘡対策委員会	17	業務連携会議
	3	吸引等安全対策委員会	15	業務連携会議	17	入所検討委員会
	8	苦情処理委員会	15	安全衛生委員会	23	カンファレンス
	10	ケアプラン委員会			27	運営懇談会
	13	虐待防止委員会			30	カンファレンス
	21	感染対策委員会(新型コロナウイルス)				
5月	1	安全対策委員会	20	業務連携会議	22	業務連携会議
	8	ケアプラン委員会	20	安全衛生委員会	25	運営懇談会
	11.13.25	感染対策委員会(新型コロナウイルス)				
	27	苦情処理委員会				
6月	3	秋祭り実行委員会	10	褥瘡対策委員会	19	業務連携会議
	5	安全対策委員会	17	業務連携会議	29	運営懇談会
	5	吸引等安全対策委員会	17	安全衛生委員会	29	カンファレンス
	8	虐待防止委員会	23	入所検討委員会	30	カンファレンス
	10.26	感染対策委員会(新型コロナウイルス)				
	12	ケアプラン委員会				
7月	1	秋祭り実行委員会	15	業務連携会議	17	業務連携会議
	3	安全対策委員会	15	安全衛生委員会	17	入所検討委員会
	8.13.31	感染対策委員会(新型コロナウイルス)			27	運営懇談会
	10	ケアプラン委員会				

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
8月	3	虐待防止委員会	12	褥瘡対策委員会	21	業務連携会議
	5	秋祭り実行委員会	19	業務連携会議	24	カンファレンス
	7	安全対策委員会	19	安全衛生委員会	25	カンファレンス
	7	吸引等安全対策委員会			31	運営懇談会
	14	ケアプラン委員会				
	31	感染対策委員会(新型コロナウイルス)				
9月	4	安全対策委員会	16	業務連携会議	18	業務連携会議
	9.14	感染対策委員会(新型コロナウイルス)	16	安全衛生委員会	28	運営懇談会
	10	ケアプラン委員会	16	栄養会議		
			25	入所検討委員会		
10月	2	安全対策委員会	14	褥瘡対策委員会	16	業務連携会議
	2	吸引等安全対策委員会	21	業務連携会議	16	入所検討委員会
	9	ケアプラン委員会	21	安全衛生委員会	26	運営懇談会
	12	虐待防止委員会			26	カンファレンス
	12.28	感染対策委員会(新型コロナウイルス)			29	カンファレンス
11月	5	安全対策委員会	18	業務連携会議	20	業務連携会議
	11.12.20	感染対策委員会(新型コロナウイルス)	18	安全衛生会議	30	運営懇談会
	13	ケアプラン委員会				
12月	4	安全対策委員会	9	褥瘡対策委員会	18	業務連携会議
	4	吸引等安全対策委員会	16	業務連携会議	28	運営懇談会
	4.8.11	感染対策委員会(新型コロナウイルス)	16	安全衛生委員会		
	18.25		16	栄養会議		
	11	ケアプラン委員会	23	入所検討委員会		

区分	うおの園・やまなみ		うおの園		やまなみ	
	日	会議/委員会	日	会議/委員会	日	会議/委員会
	14	虐待防止委員会				
1月	4.13	感染対策委員会(新型コロナウイルス)	20	業務連携会議 安全衛生委員会	22	業務連携会議 入所検討委員会 運営懇談会
	15.27					
	7					
	8					
2月	5	安全対策委員会 吸引等安全対策委員会 虐待防止委員会 感染対策委員会(新型コロナウイルス) ケアプラン委員会	10	褥瘡対策委員会 業務連携会議 安全衛生委員会	19	業務連携会議 運営懇談会
	5					
	8					
	8.19					
	12					
3月	1.8.10.22	感染対策委員会(新型コロナウイルス)	17	業務連携会議 安全衛生委員会 栄養会議 入所検討委員会	12	業務連携会議 運営懇談会 カンファレンス
	5					
	12					

(2) 特別養護老人ホームうおの園係内会議

区分	係内会議		2階ユニット会議 モニタリング		3階ユニット会議 モニタリング		リーダー会議	
	日	係名	日	ユニット名	日	ユニット名	日	会議名
4月	15	介護ミーティング	22	こぶし ききょう	27	八海山 駒ヶ岳	15	主任・リーダー会議
	21	入浴係	27	ぶな しゃくなげ	28	中ノ岳		
5月			26	ぶな しゃくなげ	26	八海山 駒ヶ岳	20	主任・リーダー会議
			28	こぶし ききょう	26	中ノ岳		
6月	15	入浴係	19	ぶな しゃくなげ	27	八海山 駒ヶ岳	17	主任・リーダー会議
	19	介護ミーティング	26	こぶし ききょう	29	中ノ岳		
	19	ユニットケア係						
	29	移乗係						
7月	2	口腔ケア係	20	こぶし ききょう	29	八海山 駒ヶ岳		
	7	排泄係	29	ぶな しゃくなげ	31	中ノ岳		
	14	移乗係						
	21	ユニットケア係						
8月	11	入浴係	28	こぶし ききょう	14	中ノ岳	17	主任・リーダー会議
			29	ぶな しゃくなげ	29	八海山 駒ヶ岳		
9月	16	移乗係	25	こぶし ききょう	22	中ノ岳	14	主任・リーダー会議
	18	口腔ケア係	29	ぶな しゃくなげ	28	八海山 駒ヶ岳		
	29	ユニットケア係						
10月	20	入浴係	28	こぶし ききょう	26	八海山 駒ヶ岳	5	主任・リーダー会議
	21	介護ミーティング	29	ぶな しゃくなげ	26	中ノ岳		
11月	4	口腔ケア係	23	こぶし ききょう	19	八海山 駒ヶ岳	2	主任・リーダー会議
	9	ユニットケア係	24	ぶな しゃくなげ	26	中ノ岳		
	28	排泄係						
12月	1 23	ユニットケア係	26	ぶな しゃくなげ	21	中ノ岳	7	主任・リーダー会議
	8	入浴係	29	こぶし ききょう	29	八海山 駒ヶ岳		
	16	介護ミーティング						

区分	係内会議		2階ユニット会議 モニタリング		3階ユニット会議 モニタリング		リーダー会議	
	日	係名	日	ユニット名	日	ユニット名	日	会議名
1月	14	口腔ケア係	27	こぶし ききょう	20	八海山 駒ヶ岳	12	主任・リーダー会議
	20 29	ユニットケア係	29	ぶな しゃくなげ	28	中ノ岳		
	24	移乗係						
2月	9	入浴係	19	こぶし ききょう	24	中ノ岳	1	主任・リーダー会議
	11	排泄係	23	ぶな しゃくなげ	28	八海山 駒ヶ岳		
	17	介護ミーティング						
3月	9	移乗係	25	こぶし ききょう	4 31	八海山 駒ヶ岳	1	主任・リーダー会議
		入浴係	25	ぶな しゃくなげ	24	中ノ岳		

(2) 施設内研修 (うおの園、やまなみ合同)

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
4月	30	新人研修	業務課長 総務係長 看護	1
6月	1	新人研修	業務課長 総務係長 看護	1
	23 25 29	尿路感染症について	感染対策委員会	40
7月	20 22 27	服薬管理マニュアルの再確認・内服薬について	安全対策委員会	40
	30 31	『RAP サマリーの記入方法について』の説明	ケアプラン委員会	21
8月	4	『RAP サマリーの記入方法について』の説明	ケアプラン委員会	5
	24 26 27	看取り研修会	ケアプラン委員会	35
9月	1	新人研修	業務課長 総務係長 支援主任	1
	17 23 25	身体的拘束適正化のための指針 ユマニチュアードの技法	虐待防止委員会	40
	23	新人研修	業務課長 総務係長 介護係長	1
10月	21 22 23	ノロウイルス感染症時の吐物処理方法について	感染対策委員会	57
11月	2	新人研修	業務課長 総務係長 介護係長	1
	6	新人研修	業務課長 総務係長	1

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
	25 25 27 30	救急法 AED 研修会 自然な動きから学ぶ床ずれケア	安全対策委員会 魚沼市消防署 褥瘡対策委員会	10 37
12月	1	新人研修	業務課長 総務係長 支援主任	1
	2	新型コロナウイルスと口腔ケア	藤本歯科医院 藤本誠医師	27
	10 17 18	窒息時における緊急対応演習	安全対策委員会	48
	21 24 25	24時間シートはなぜ必要なのか	ユニットケア係	39
1月	6 14 15	24時間シートの内容、記載方法説明	ユニットケア係	45
	21 22 25	身体的拘束の体験 虐待防止のための自己チェックシートの解説	虐待防止委員会	42
2月	18 24 25	口腔内喀痰吸引手順、方法について	吸引等安全対策委員会	36
	19 26	生活支援系の活動報告	各生活支援係	29
3月	12	ケアプラン作成について	ケアプラン委員会	9
	3 24	ポジショニングについての説明と実践	アビリティーズケアネット様	31
	5	水害対策について 担架による避難訓練	防災委員会	28
	19 26	各ユニットの目標についての評価の発表	各ユニット	24

5. 年間行事等実施計画書

(1) 特別養護老人ホームうおの園全体行事

区分	日	行事	日	行事食
4月	1	社協 傾聴ボランティア	7	握り寿司
5月			1	子どもの日のお祝いメニュー
6月			19	選択食
7月			7	七夕メニュー
8月			14	お盆料理
9月	23	うおの園敬老会	18	敬老の日お祝いメニュー
			24	お彼岸 おはぎ
10月	23	運動会	23	運動会お弁当メニュー

区分	日	行事	日	行事食
11月			25	おでんパーティー
12月	21	うおの園・クリスマスプレゼント	25 31	クリスマス 年末料理
1月	13	小正月「獅子舞」	1 2 6	正月料理
2月	5	節分豆まき	12	おしるこ
3月			3 19	ひなまつりメニュー お彼岸料理

(2) 特別養護老人ホームうおの園ユニット行事

区分	こぶし		ぶな		しゃくなげ		ききょう		八海山・駒ヶ岳		中ノ岳	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	15	バスハイク	15 19	バスハイク 誕生会	19	誕生会	19 15	誕生会 バスハイク	15	バスハイク		
5月	24	誕生会	26	茶話会	26	茶話会	24	誕生会				
6月	14	誕生会	19	誕生会	11 19	誕生会 誕生会	14	誕生会				
7月	15	誕生会			22	誕生会	15	誕生会				
8月	23	納涼会	2 23	スイカ割り 誕生会	2 23	スイカ割り 誕生会	23	納涼会				
9月	29	誕生会	28	誕生会			29	誕生会	6	誕生会		
10月	19 21 21	お菓子作り バスハイク カラオケ	19 21	お菓子作り バスハイク	19 20 21	お菓子作り 誕生会 バスハイク	19 21 21	お菓子作り バスハイク カラオケ	19	バスハイク	16 26	カラオケ カラオケ
11月	23	誕生会	27	誕生会	26 26	カラオケ 茶話会	23	誕生会	22	誕生会		
12月	27	誕生会	23	誕生会	23	誕生会	27	誕生会			24	クリスマス会

区分	こぶし		ぶな		しゃくなげ		ききょう		八海山・駒ヶ岳		中ノ岳	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
			23	忘年会	23	忘年会						
1月	14	喫茶	14	喫茶	14	喫茶	14	喫茶	10	カラオケ		
	14	カラオケ	14	カラオケ	14	カラオケ	14	カラオケ				
			24	誕生会	24	誕生会	27	誕生会				
2月	24	誕生会	14	茶話会	14	茶話会			24	誕生会	15	茶話会
3月	3	ひな祭り会	3	ひな祭り会	3	ひな祭り会	3	ひな祭り会			16	お菓子作り
	25	誕生会										

(3) ケアハウスやまなみ行事

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	3	映写会			7	お好み焼き作り	9	創立記念弁当
	3	アロマキャンドル作り			14	おやつ作り (お饅頭)	23	希望献立
	7	買物ツアー						
	8	写経を楽しむ会						
	14	やまなみ喫茶						
	21	買物ツアー						
	21	カルタ会						
	23	衣料販売						
	28	カラオケ会						
5月	7	買物代行			12	おやつ作り (ちまき)	7	子供の日
	8	映写会					21	希望献立
	12	やまなみ喫茶						
	13	写経を楽しむ会						
	19	買物代行						

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	20	アクリルタワシ						
	26	カルタ会						
	28	衣料販売						
	29	カラオケ会						
6月	2	買物ツアー			9	おやつ作り (笹団子)	4	野外食
	3	フリーマーケット					25	希望献立
	9	やまなみ喫茶						
	10	写経を楽しむ会						
	12	映写会						
	16	買物ツアー						
	17	アクリルタワシ						
	25	衣料販売						
	26	カラオケ会						
7月	7	買物ツアー			14	おやつ作り (クッキー)	2	七夕そうめん
	8	写経を楽しむ会					21	行事食 (うなぎ)
	15	アクリルタワシ						
	17	じゃが芋堀						
	21	買物ツアー						
	30	衣料販売						
	31	カラオケ会						
8月	4	買物代行			11	おやつ作り (もちもちポテ ト)	13	行事食 (お盆料理)
	5	写経を楽しむ会					27	希望献立
	7	スイカ割						
	11	買物代行						
	11	やまなみ喫茶						
	14	映写会						

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
	25	買物代行						
	27	衣料販売						
	28	カラオケ会						
9月	1	買物代行			8	おやつ作り (パン)	1	パンバイキング
	4	わくわく縁日			10		行事食 (敬老祝い膳)	
	8	やまなみ喫茶			17		希望献立	
	9	アクリルタワシ			24		行事食 (おはぎ)	
	10	敬老会						
	11	写真会						
	15	買物代行						
	16	写経を楽しむ会						
	23	カラオケ会						
	24	衣料販売						
	25	避難訓練						
10月	1	災害食訓練			13	おやつ作り (スイートポテト)	22	希望献立
	4	買物ツアー						
	7	カラオケ会						
	13	やまなみ喫茶						
	14	バスハイク						
	14	写経を楽しむ会						
	19	さつま芋堀						
	20	買物ツアー						
	21	バスハイク						
	21	カラオケ会						
	22	衣料販売						
30	ミニ運動会							

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
11月	4	買物ツアー			10	おやつ作り (大根菜饅頭)	5	収穫祭
	10	やまなみ喫茶					19	希望献立
	11	写経を楽しむ会					26	鍋パーティー
	13	作品展						
	13	映写会						
	17	買物ツアー						
	18	カラオケ会						
	26	衣料販売						
12月	1	買物ツアー			8	おやつ作り (ホットケーキ)	10	希望献立
	8	やまなみ喫茶					24	クリスマス会
	9	カラオケ会					28	忘年会
	11	映写会						
	15	買物ツアー						
	16	写経を楽しむ会						
	22	球技大会						
	24	クリスマス会						
29	カラオケ会							
1月	5	買物ツアー			12	おやつ作り (ドーナツ)	1	おせち料理
	6	カラオケ会					2	おせち料理
	8	映写会					3	おせち料理
	12	やまなみ喫茶					21	希望献立
	15	カルタ会						
	19	買物ツアー						
	20	写経を楽しむ会						
	28	衣料販売						
	29	スカットボール						

区分	年間行事		ボランティア		クラブ活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
2月	2	節分豆まき			9	おやつ作り (クッキー)	3	恵方巻
	3	パズル遊び			19		寿司パーティー	
	9	やまなみ喫茶			25		希望献立	
	10	DVD 体操						
	12	映写会						
	16	買物ツアー						
	17	カルタ会						
	24	風船バレー						
	25	衣料販売						
	26	民謡会						
3月	1	カラオケ会			9	おやつ作り (お好み焼き)	4	お雛様献立
	2	買物ツアー			18		彼岸のおはぎ	
	3	調理レク			25		希望献立	
	5	アロマキャンドル						
	9	やまなみ喫茶						
	10	毛糸を楽しむ						
	16	買物ツアー						
	17	DVD 体操						
	19	映写会						
	24	風船バレー						
	25	衣料販売						
	26	カラオケ会						
	31	スカットボール						
	31	輪投げ						

魚沼市養護老人ホーム南山荘 事業報告

1. 事業計画執行状況

基本方針、令和2年度重点目標及び個別事業計画に基づき、各部門において計画を進めてきた。

各部門の目標に対する評価及び今後の課題は次のとおりである。

(1) 支援員

<目標及び評価>

- 1) 担当する入所者への個別の関わりを深め、個々を尊重し支援していく。
⇒訴えの多い入所者にはたくさん関わることができたが、訴えの少ない入所者には、業務が忙しかったり介助を必要とする入所者に対応して関わりがとれなかったと思う。時間を見つけて少しでも関わられるようにしていきたい。
- 2) 優しさと思いやりを忘れず、相手の気持ちになって支援する。
⇒訴えが頻回だったり不満を口にする入所者に対して感情的になってしまいう時があった。冷静になり相手の気持ちになって支援していきたい。
- 3) 業務の中で小さな気付きや情報交換を行い、多職種と連携を図り支援して行く。
⇒日々の業務の中で気付いたことや相談したいことをミーティングや処遇会議などで出し、多職種と連携を図ることができたと思う。来年度も継続していき、良い支援ができるようにしたい。
- 4) 入所者と職員全員で行事を盛り上げ楽しく過ごす。
⇒コロナ関係で行事の内容が一部変更したり、ボランティアを呼べず荘内だけで行ってきたが入所者には楽しんでもらえたと思う。来年度も荘内で行える行事を考えていきたい。

<次年度以降の課題等>

- ・クラブの先生がコロナの関係で来ることができなくなっている。支援員のできる範囲のカラオケや習字（書写）を行っていく必要がある。
- ・感染症対策や無断外出者の対応で、自由に散歩や買い物等に出られない状況が続いている。入所者もストレスが溜まっていると思う。週一回 30分～1時間程度でできるレクや体操などを考えていく。
- ・図書を充実させ、花や野菜を育てたい。
- ・歩行器やシルバーカーを使用する入所者が増え、食堂内や体育室などが混雑するので環境を整える

(2) 看護

<目標及び評価>

- 1) 入所者のQOL維持・向上のために多職種と密に連携をとる。
⇒体調不良や入院等でADLの低下あり。コロナ対策でQOLの低下の時期もあった。多職種と連携して計画し短期間で維持向上に努めた。今後も継続が必要である。
- 2) 入所者の健康保持・増進のために医療福祉への知識と技術を高める。
⇒コロナで研修参加が難しかったが、ウェブ研修等で情報を得るように努め、入所者にも情報を伝えることができた。

- 3) 感染症対策の徹底と早期発見・対応に努める。
⇒毎日の検温、体調不良者の健康観察、入所者への研修を実施しマスク着用
のお願いをした。かぜ症状・発熱等症状のある方は静養室で安静にしてもら
い主治医に報告し対応した。
- 4) 家庭らしさ、その人らしさを考え、本人や家族・職員間で連携を図る。
⇒入所者に合った対応を考え、問題発生時は多職種で相談し、問題によっ
ては家族に報告し対応した。

<次年度以降の課題等>

- ・入所者、職員の新型コロナウイルス等感染症の知識や意識を高めるよう、
研修や会議を行い日頃から対策する。

(3) 生活相談員

<目標及び評価>

- 1) 多職種や関係機関との連携を図り、適切な支援につなげる。
⇒今年度は、虐待など緊急的な相談や受け入れのケースが多かった。関係機
関と連携を密に図り支援につなげた。支援方法については、本人や家族に
とって何が正解なのか悩むことが多かった。
- 2) 入居者や家族からの相談を丁寧に受け止め、必要な支援や信頼関係につな
げる。
⇒入所者の心配事や体調の変化など、入所者目線で思いを傾聴するよう心掛
けた。一人ひとりの関係性を深めることができたと思う。多職種とその都
度相談し、必要な支援につなげた。
- 3) 地域の中で困っている人や相談者に対して適切な情報や支援が行えるよう
制度の理解や相談援助の技術向上に努める。
⇒相談に来られた方の話を傾聴し、関係機関を紹介しつなげることができ
たと思う。日々、目の前の出来事に追われ、なかなかスキル向上の機会が持
てなかった。
- 4) 本人の意欲や出来ることを生かした支援計画を作成し、自立に向けた支援
につなげていく。
⇒計画内容に変化がなく、画一的となってしまった。本人の意向や思いに
耳を傾け、南山荘での生活に即した支援計画にできるよう心掛けていき
たい。
- 5) 地域の一員として地元の方と協力し、合同訓練や行事を企画実行する。
⇒新型コロナ感染症の流行もあり、地域の交流会や行事の開催が出来なかつ
た。コロナ禍でも行える交流や合同訓練等を考えていく必要がある。

<次年度以降の課題等>

- ・年々ADL の低下や精神的不安定になる方の対応が増え、新規については虐
待や障害者などの相談、受入れが増えてきている。セーフティーネットと
しての役割を意識し、養護施設としてできることを考え適切な支援につな
げていく。

(4) 栄養・調理員

<目標及び評価>

- 1) 栄養管理を行い一人ひとりの健康寿命を延ばせるように考えるとともに、入所者とコミュニケーションをとり、より満足して食べていただけるよう努める。
⇒栄養状態を数値だけで判断せず、入所者一人ひとりが美味しく食べて健康やかに過ごせるように栄養相談や食事の検討を行ってきた。また、コミュニケーションをとり献立や料理について説明したり作る側の気持ちを伝えることで「美味しいのがもっと美味しくなった」「聞いただけで胸がいっぱいになった」などの声が聞かれ、より満足して食べて頂けたと思う。
- 2) 入所者に毎日の食事や行事食など食べる楽しみを持ってもらえるような食事を提供する。
⇒入所者と一緒に山菜を採りに行ったり野菜をプランターや畑で育てて献立に取り入れたり、行事食では毎回わくわくしてもらえるように盛り付けや切り方を工夫し見た目でも楽しんで頂けていると思う。
- 3) 食中毒や感染症予防に注意し、安全でおいしい食事を提供する。
⇒加熱・消毒の徹底で安全安心な食事提供ができています。
- 4) 異物混入や配膳ミスなどの事故防止に努める。
⇒異物混入は無くよかった。配膳ミスは起きていたのでさらに付箋を付けるなど再度気を付けていきたい
- 5) 入所者の口腔機能に合わせ、それぞれに適した形態で安心して食べてもらえる食事作りに努める。
⇒基本の部分は、食形態通り提供し、それ以外でも個々の摂食状態を見ながら常食の方でも予めカットしたり本人に聞きながらカットし、できるだけ個別対応に努めてきた。入所者も安心して食べていると思う。

<次年度以降の課題等>

- ・衛生管理を徹底し、ノロやコロナなどの感染予防しながら、入所者に少しでも食事を「楽しみ」として食べてもらえるよう努める。

(5) 総務

<目標及び評価>

- 1) 他職種と連携し施設内外の取り組みを把握し現場職員の後方支援に努める。
⇒他職種と係わり連携して、必要な支援ができた。
- 2) 入居者とのコミュニケーションを積極的にとる。
⇒今年度は行事・外出サポート等が中止や縮小されたが、できるだけ関わるように努めた。
- 3) 相手を不快にさせないよう明るく適切な窓口対応を心がける。
⇒窓口・電話対応で、マスクをしながらでも沈んだ声を出さぬよう努めた。今後も来荘者がどういった関係なのかを適切に把握し対応できるようにしたい。
- 4) 法令や会計の知識習得に努める。また、業務の効率化と適正な在庫管理、事務作業のスキル向上に努める。
⇒日々の雑作業に忙殺されいろいろな知識習得には至らなかった。備品管理や感染症対策等の消耗品など在庫管理は不足なく適正に管理できた。

日々の業務に計画性を持ち、法令関係の文書や配信された文書を読む時間を作り、必要な知識を習得する。

5) 施設・設備の的確な保守及び点検・管理に努める。

⇒施設設備の老朽化が進み、大規模な修繕が必要となったケースが多かった。今後も施設予算を考慮しつつ、高額の案件は市と協議し業務に支障ないよう管理していく。

＜次年度以降の課題等＞

・コロナ禍で入所者の生活や施設運営が大きく変化した。新しい生活様式を取り入れながら入所者の生活・行事・非常時の対応など施設全体の運営にできるだけ支障が出ないように対応していきたい。

以上、これらの反省点や課題を解消しながら、計画に反映し、サービスの質の向上を目指し事業を推進していく。

2. 施設が管理する事業

種別		協定期間	受託開始期間	事業開始日
養護老人ホーム	定員 50 名	H31. 4. 1～ R6. 3. 31	H26. 4. 1	S44. 6. 1
生活管理指導短期宿泊事業	定員 4 名	H31. 4. 1～ R6. 3. 31	H26. 4. 1	H5. 12. 2

3. 利用状況

ア 要介護度別・年齢別・男女別入所者数 (R3.3.31 現在)

区分		なし	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	計	
～ 64 歳	男									0
	女									
65～69 歳	男									2
	女	2							2	
70～79 歳	男	7			1	2	1		11	11
	女									
80～89 歳	男	2				1		1	4	19
	女	8		1	4		2		15	
90～99 歳	男									13
	女	4		1	2	5	1		13	
100 歳～	男									2
	女	1					1		2	
計	男	9			1	3	1	1	15	47
	女	15		2	6	5	4		32	
	計	24	0	2	7	8	5	1	47	

要支援…2名 要介護者…21名
 平均要介護度…男性 2.3/女性 1.9/全体度 2
 平均入所期間…5年6か月 平均年齢…男性 76.9歳/女性 88.7歳/全体 84.9歳
 最高年齢…男性 89歳/女性 101歳 最低年齢…男性 70歳/女性 69歳
 待機者数… 2名

イ 入所者利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	29	29	29	30	29	29	29	30	30	30	30	32	356
計	44	44	44	45	44	44	44	45	45	45	45	47	536

ウ 入所者利用者数（退所者含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	29	29	29	30	30	30	29	30	30	30	30	32	358
計	44	44	44	45	45	45	44	45	45	45	45	47	538

エ 入所者延べ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	450	465	450	465	465	450	465	450	465	465	420	465	5,475
女	870	899	870	901	911	882	899	900	930	930	840	969	10,801
計	1,320	1,364	1,320	1,366	1,376	1,332	1,364	1,350	1,395	1,395	1,260	1,434	16,276

稼働率 89.2%

オ 短期宿泊事業利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男				1	1						1		3
女		1	1	2		1	1		2	1	1	1	11
計	0	1	1	3	1	1	1	0	2	1	2	1	14

カ 短期宿泊事業利用者延べ数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男				3	3						4		10
女		3	13	32		14	14		21	31	28	23	179
計	0	3	13	35	3	14	14	0	21	31	32	23	189

キ 入退所

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所 男													0
入所 女				1		1		1				2	5
退所 男													0
退所 女					1	1							2
入所 5名	内訳…在宅 5名												
退所 2名	内訳…高齢者支援ハウス 1名 死亡 1名												

ク ひやりはっと件数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	3	5	2	3	2	3	6	2	3	8	3	4	44
転落				1					1		1		3
外傷・熱傷	1	1	1	1				2		1			7
誤嚥誤飲								1					1
異食									1		1		2
離設		2	1			1	1		1				6
紛失破損			1										1
与薬	1								3	1	2		7
その他	1	1		1		1	4		1	1			10
計	6	9	5	6	2	5	11	5	10	11	7	4	81

ケ 面会件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会数	4	12	16	22	14	36	41	15	9	5	12	2	188

コ 職員出張件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数			1	1			1	2	3	1	3	1	13
参加者			1	3			1	3	4	1	3	1	17

サ 苦情・意見及び要望受付件数
なし

4. 会議・研修・行事状況

別紙のとおり

5. 施設・設備整備状況

(1) 建物、設備、備品の点検・修理

- ・洗濯乾燥室改修工事
- ・テレビドアホン取付修繕工事
- ・LED照明器具取替 6カ所
- ・畳表替 3部屋
- ・1F職員トイレウォシュレット取替工事
- ・給湯ボイラー保守点検
- ・貯湯槽タンク設備保守点検
- ・エレベータ保守点検
- ・貯水槽清掃及び水質検査
- ・地下タンク漏洩検査

(2) 車両関係点検・修理

- ・除雪機（タイヤショベル）オイル漏れ修理
- ・除雪機（大型・小型）点検修理
- ・除雪機（タイヤショベル）点検
- ・送迎車車検
- ・送迎車バックドアミラー取付、塗装修理

(3) 備品の点検・修理

なし

(4) 備品の購入

- ・ガス衣類乾燥機
- ・高圧洗浄機
- ・デジタルカメラ
- ・体育室遮光カーテン
- ・コードレスセンサーマット
- ・オープンレンジ

(5) リース開始物件

なし

別紙

1. 避難訓練

日時	内容
5. 16	「緊急連絡網」伝達訓練
5. 22	土砂・洪水災害避難訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練 消火栓散水訓練
7. 20	火災訓練 自動通報装置による消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練 スモークマシーンによる煙体験訓練
9. 19	「緊急連絡網」伝達訓練
9. 23	夜間想定・初期消火・避難誘導訓練（自治体消防団参加） 消火器使用訓練
2. 20	「緊急連絡網」伝達訓練
2. 26	火災訓練 自動通報装置による消防署への通報訓練 避難誘導訓練 消火器使用訓練 スモークマシーンによる煙体験訓練

2. 調査報告

調査報告日	調査報告件名	提出先
7. 8	避難確保計画に基づく訓練実施調査	魚沼市総務政策部防災安全課
7. 14	メンタルヘルス対策・ストレスチェック実施状況調査	新潟労働局労働基準部
8. 14	令和2年度 養護老人ホームの被措置者数等に関する確認	全国老施協
8. 28	介護保険施設等における非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施に関する状況調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
9. 3	高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
10. 5	保護施設・老人福祉施設等調査	厚生労働省
10. 5	医療施設静態調査	厚生労働省
11. 4	避難確保計画に基づく訓練の実施状況調査	魚沼市総務政策部防災安全課
11. 4	無床診療所の自主点検の調査	新潟県福祉保健部医務薬事課

調査報告日	調査報告件名	提出先
12. 2	社会福祉施設等におけるブロック塀等の安全点検状況及び非常用自家発電整備の整備状況調査	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
1. 12	医療保険関係資格者の届出	新潟県魚沼地域振興局健康福祉部
1. 18	退院支援・連携に関するアンケート調査	魚沼市立小出病院 医療連携室
1. 22	地域共生社会の実現に向けた養護老人ホーム及び軽費老人ホームのあり方に関する調査	全国老人福祉施設協議会
2. 5	令和2年度給食実施状況報告	新潟県魚沼保健所

3. 出張研修一覧

出張日	件名	参加数
6. 10	拡大魚沼連携感染管理会議	1
7. 19	令和2年度 事務職員研修	3
10. 7	福祉施設等給食施設担当者研修会	1
11. 9	上級救命救急講習	2
11. 20	地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）	1
12. 11	令和2年度 小出病院地域連絡会	1
12. 18	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会	2
12. 23	ストーマケア研修（講義）	1
1. 14	ストーマケア研修（実技）	1
2. 8	社会福祉法人会計実務者決算講座	1
2. 16	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習	1
2. 17	知っておきたい労務管理の基本	1

出張日	件名	参加数
3.2	新潟県社会福祉法人経営者研修会	1

4. 年間会議/委員会等実施報告書

(1) 会議/委員会実施状況

区分	南山荘				市	
	日	会議	日	委員会	日	会議/委員会
4月	8	業務連携会議	10	感染対策委員会		
	9	支援員会議	20	安全対策委員会		
	15	厨房会議	23	研修委員会		
	27	処遇会議	30	感染対策委員会		
	28	処遇会議				
5月	8	厨房会議	11	広報委員会		
	13	業務連携会議				
	14	支援員会議				
	27	処遇会議				
	29	処遇会議				
6月	11	支援員会議	12	虐待防止委員会	23	入所調整会議
	12	業務連携会議	19	感染対策委員会	30	魚沼市・南山荘業務連携会議
	26	処遇会議	25	広報委員会		
	30	処遇会議				
7月	8	業務連携会議	8	虐待防止委員会	17	入所調整会議
	9	支援員会議	29	安全対策委員会	30	魚沼市地域ケア会議
	17	厨房会議	31	湯之谷 DS 合同会議		入所判定部会
	28	処遇会議				
	31	処遇会議				
8月	12	業務連携会議			11	入所調整会議
	13	支援員会議				
	26	処遇会議				
	31	処遇会議				
9月	9	業務連携会議	14	感染対策委員会	10	入所調整会議

区分	南山荘				市	
	日	会議	日	委員会	日	会議/委員会
	10	支援員会議	14	虐待防止委員会		
	11	厨房会議				
	28	処遇会議				
	29	処遇会議				
10月	14	業務連携会議	12	安全対策委員会	13	入所調整会議
	15	支援員会議			15	魚沼市・南山荘業務連携会議
	15	厨房会議			30	魚沼市地域ケア会議
	26	処遇会議				入所判定部会（持ち回り）
	28	処遇会議				
11月	4	厨房会議	4	研修委員会		
	11	業務連携会議	11	感染対策委員会		
	12	支援員会議	11	虐待防止委員会		
	25	処遇会議	24	感染対策委員会（臨時）		
	26	処遇会議	25	感染対策委員会（臨時）		
12月	9	業務連携会議			8	入所調整会議
	14	厨房会議				
	18	支援員会議				
	25	業務連携会議（臨時）				
	28	処遇会議				
	29	処遇会議				
1月	13	業務連携会議	19	安全対策委員会	12	入所調整会議
	14	支援員会議	19	研修委員会		
	21	厨房会議				
	22	処遇会議				
	25	処遇会議				
2月	3	厨房会議	3	広報委員会	12	入所調整会議

区分	南山荘				市	
	日	会議	日	委員会	日	会議/委員会
	10	業務連携会議	15	感染対策委員会	15	魚沼市・南山荘業務連携会議
	11	支援員会議	15	虐待防止委員会	26	魚沼市地域ケア会議
	24	処遇会議				入所判定部会（持ち回り）
	25	処遇会議				
3月	2	厨房委員会	30	感染対策委員会（臨時）	24	魚沼市地域ケア会議 入所判定部会
	10	業務連携会議	31	感染対策委員会（臨時）		
	11	支援員会議				
	25	処遇会議				
	29	処遇会議				

(2) 施設内研修

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
5月	22	非常用発電装置操作法訓練 車いす階段昇降訓練 公用車操作方法勉強会	安全対策委員会	10
7月	20	コロナ感染症と食中毒について	感染対策委員会 東京慈恵会医科大学研修医	23
8月	26. 27. 28. 30	新型コロナウイルス施設内感染対策勉強会	感染対策・研修委員会	24
9月	3. 4. 8	高齢者虐待・身体拘束による弊害	身体拘束適正化・虐待防止委員会	24
11月	18. 19. 20	救急救命法講習会	安全対策委員会	24
1月	19. 20. 21	不適切ケアと予防方法	身体拘束適正化・虐待防止委員会	24
3月	1	新人研修	業務係長 総務係長 主任支援員	1

区分	日	内容	担当委員会等	参加数
	18. 23. 24	ノロウイルス対策勉強会	感染対策委員会	20
	18. 23. 24	厨房職員の取組み	研委員会	20

4. 年間行事等実施計画書

(1) 全体行事

区分	年間行事		クラブ・レクリエーション活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容
4月	6	散髪	17	料理レク（白玉あんみつ作り）	9	バイキング
	12	外出サポート			15	誕生者希望献立
	17	春のお茶会			24	春の和会席
	30	外出サポート				
5月	1	常会	27	料理レク（ちまき作り） ※4～5月山菜採り支援	8	屋外食
	4	散髪			15	バイキング
	7	春のお茶会			19	誕生者希望献立
	22	避難訓練				
	28	外出サポート				
29	常会（6月分）					
6月	1	散髪	23	料理レク（ピザ作り）	1	さなぶりごっつお
	3	運動会			17	誕生会希望献立
	4.5	菖蒲湯			23	バイキング
	12	外出サポート				
	16	外出サポート				
	24	外出サポート				
	26	衣類販売				

区分	年間行事		クラブ・レクリエーション活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容
7月	1	常会	27	料理レク（笹団子作り）	7	七夕バイキング
	6	散髪	28	習字クラブ	17	誕生会希望献立
	16	外出サポート				
	17	避難訓練				
	22	納涼大会				
	29	外出サポート				
	31	常会（8月分）				
8月	3	散髪	26	料理レク（お好み焼き作り）	5	誕生会希望献立
	4	夏のお茶会			13	お盆料理
				17	バイキング	
9月	1	常会	16	カラオケクラブ	11	誕生会希望献立
	7	散髪	19	民謡クラブ	15	敬老祝い御膳
	14	散髪	22	習字クラブ	23	おはぎバイキング
	15	敬老祝い会	25	料理レク（クレープ作り）		
	23	夜間避難訓練				
10月	1	常会	17	民謡クラブ	1	ミニ十五夜献立
	5	散髪	21	カラオケクラブ	15	誕生会希望献立
	6	衣類販売	28	習字クラブ		
	12	散髪	28	料理レク（くるみ佃煮作り）		
	15	外出サポート				
	27	外出サポート				
	30	外出サポート				
30	常会（11月分）					
11月	2	散髪	13	料理レク（芋ようかん作り）	6	秋の収穫祭献立
	9	散髪			18	誕生会希望献立

区分	年間行事		クラブ・レクリエーション活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容
	18 27	歌をうたおう会 入所者健康診断			25	バイキング
12月	1 1 2 7 14 21 21・22 25 30	常会 コロナ勉強会 不在者投票 散髪 忘年会 散髪 ゆず湯 クリスマス会 常会（1月分）	30	料理レク（昆布巻き・芋餅作り）	8	誕生会希望献立
1月	4 5 13 29	散髪 散髪 正月あそび 常会（2月分）	15	料理レク（餃子作り）	1～3 14 15 21	お節料理 年取り料理 小正月料理 誕生会希望献立
2月	1 3 8 21～28 26 26	散髪 節分豆まき会 散髪 作品展 避難訓練 常会（3月分）	15	料理レク（生チョコ作り）	19	誕生会希望献立
3月	1 5 8 12	散髪 春の健康診断 散髪 ひな祭会	10 19	そば打ちボランティア 料理レク（クッキー作り）	2 15 23	ひな祭り献立 誕生会希望献立 彼岸のぼたもち献立

区分	年間行事		クラブ・レクリエーション活動		行事食	
	日	内容	日	内容	日	内容
	29	むつみ会総会				

参考資料

年間推移
職員数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
施設長	2	2	2	2	2
生活相談員	6	6	6	7	8
機能訓練指導員	2	2	2	2	2
機能訓練パート	1	1	1	1	1
管理栄養士	3	3	3	3	3
看護職員	6	6	6	5	5
看護パート	2	2	3	3	4
介護職員	50	51	57	49	53
介護パート	17	16	13	14	19
事務員	3	3	3	3	3
事務パート	1	1	2	2	2
管理運転	3	3	3	4	4
管理運転パート	2	1	2	1	1
調理員	4	5	5	5	5
調理パート	2	2	1	1	1
出向	7	7	3	2	2
学生					
計	111	111	112	104	115

特別養護老人ホームうおの園

介護老人福祉施設

ア 要介護度別入居者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
要介護度 1					
要介護度 2	6	2	1		
要介護度 3	8	10	7	8	6
要介護度 4	22	24	18	21	22
要介護度 5	34	33	41	40	41
計	70	69	67	69	69
平均介護度	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5
平均在園期間	3年7ヶ月	3年1ヶ月	3年0ヶ月	3年8ヶ月	3年3ヶ月

イ 要介護度別入居者延べ数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要介護度 1		84			
要介護度 2	2,169	1,127	518	91	
要介護度 3	2,792	3,755	3,036	2,880	2,769
要介護度 4	8,081	8,396	7,812	7,814	8,476
要介護度 5	11,706	11,255	13,137	13,681	12,472
計	24,748	24,617	24,503	24,466	23,717
稼働率	96.86%	97.73%	98.2%	98.6%	97.2%

ウ 性別入居者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	7	10	8	10	14
女	61	59	59	55	55
計	68	69	67	65	69

エ 平均年齢

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	82.9	87.5	88.5	86.7	87.2
女	89.4	90.1	90.4	90.9	90.1
平均年齢	88.7	89.7	90.2	90.2	89.5

オ 入居者地区別内訳

地区名	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
川口	5	5	5	5	5
堀之内	14	15	18	16	16
小出	26	27	27	28	30
湯之谷	15	13	12	14	12
広神	3	5	3	1	3
守門	2	1	1	2	2
入広瀬	3	3	1	0	1
大和	0	0	0	0	0
計	68	69	67	66	69

カ 入退居数推移

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入居	15	24	21	16	29
退居	16	23	24	17	25

キ 入居先経緯

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
在宅	3	3	6	2	3
病院	6	6	7	3	7
老人保健施設	5	13	6	8	16
グループホーム	1	2		1	1
その他			2	2	2
計	15	24	21	16	29

ク 退居先等

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
在宅					2
病院	1		1	1	
老人ホーム					
老人保健施設					
グループホーム					
死亡	15	23	23	16	23
計	16	23	24	17	25

ケ 入居待機者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
待機者数	138	126	128	156	146

(予防介護) 短期入所生活介護

ア 要支援・要介護度別利用者数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要支援 1	0.3	0.3	0.7	0.7	
要支援 2	0.8	0.3			0.8
要介護度 1	5.8	8.3	8.6	8.6	12.0
要介護度 2	20.8	14.3	17.9	17.9	21.7
要介護度 3	14.0	12.9	13.8	13.8	11.0
要介護度 4	13.5	13.0	13.8	13.8	11.8
要介護度 5	5.3	7.8	9.7	9.7	8.3
計	60.5	56.9	64.4	64.4	65.6
平均要介護度	2.82	2.93	3.0	3.0	2.8

イ 要介護度別利用者延べ数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要支援 1	12	6	28		5
要支援 2	57	21		22	33
要介護度 1	524	546	576	704	807
要介護度 2	1,583	995	1,420	1,669	1,812
要介護度 3	1,246	1,184	1,176	838	782
要介護度 4	1,566	1,685	1,145	1,383	1,305
要介護度 5	631	1,000	988	788	706
計	5,619	5,437	5,333	5,404	5,450
稼働率	96.3%	92.9%	91.3%	92.2%	93.3%

ケアハウス やまなみ

ア 要介護度別入居者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
要支援 1	3	4	5	3	3
要支援 2	3	4	4	4	3
要介護度 1	9	10	10	12	13
要介護度 2	6	2	5	2	2
要介護度 3	1	2		1	
特定計	22	22	24	22	21
一般	8	7	5	8	9
計	30	29	29	30	30
平均要介護度	1.2	1.0	1.2	1.35	0.92
平均在園期間	4 年 2 ヶ月	4 年 5 ヶ月	4 年 6 ヶ月	4 年 8 ヶ月	4 年 6 ヶ月

イ 契約種別入居者延べ数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
特定	7,757	7,985	8,598	8,260	7,941
一般	3,134	2,865	2,275	2,585	2,881
計	10,891	10,850	10,873	10,845	10,822
稼働率	99.5%	99.0%	99.3%	99.3%	98.83%

ウ 要介護度別入居者延べ数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要支援 1	900	1,329	2,027	994	914
要支援 2	950	1,091	1,587	1,568	1,308
要介護度 1	3,447	3,165	3,141	3,747	4,656
要介護度 2	1,942	1,574	1,182	1,565	863
要介護度 3	365	700	322	253	100
要介護度 4		33	56		
計	7,604	7,892	8,315	8,127	7,841

エ 性別入居者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	8	5	7	9	10
女	22	6	22	21	20
計	30	11	29	30	30

オ 平均年齢

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	85.1	84.0	85.4	84.2	86
女	87.5	88.8	88.9	88.7	88.2
平均年齢	86.9	88.0	88.1	87.3	87.5

カ 入居者地区別内訳

地区名	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
堀之内	6	4	4	5	5
小出	6	6	6	5	7
湯之谷	6	8	8	7	6
広神	2	3	4	4	3
守門	4	2	2	2	2
入広瀬				1	2
大和	2	2		2	1
六日町	2	2	3	2	2
塩沢					
湯沢町					
その他	1	1	1		1
県外	1	1	1	1	1
計	30	29	29	29	30

キ 入退居数推移

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入居	3	5	4	5	7
退居	3	6	4	4	7

ク 入居先経緯

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
在宅	1	4	2	5	6
老人保健施設					
地域密着型特定施設			1		
高齢者支援ハウス	2		1		
ケアハウス					
その他		1			1
計	3	5	4	5	7

ケ 退居先等

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
在宅	1	1			2
病院					
老人ホーム					1
老人保健施設		1	1	1	1
グループホーム	1	4	1	3	2
介護付き 有料老人ホーム			1		
サービス付き 高齢者住宅			1		
死亡	1				1
計	3	6	4	4	7

魚沼市養護老人ホーム南山荘

ア 要介護度別入所者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
なし	34	33	31	25	24
要支援 1	1	1			
要支援 2	1		1	2	2
要介護度 1	1	2	6	9	7
要介護度 2	8	10	7	5	8
要介護度 3	3		2	3	5
要介護度 4		2	2		1
要介護度 5					
計	48	48	49	44	47
平均要介護度	2.2	2.1	2.0	1.7	2.0

イ 入所者延べ数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
男	5,256	5,772	6,080	6,045	5,475
女	11,811	11,675	11,620	11,049	10,801
計	17,067	17,447	17,700	17,094	16,276

ウ 性別入所者数

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	16	16	17	15	15
女	32	32	32	29	32
計	48	48	49	44	47

エ 平均年齢

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
男	75.6	76.5	76.6	75.9	76.9
女	86.3	86.4	87.6	88.4	88.7
計	82.7	83.1	83.8	84.1	84.9

オ 入所者地区別内訳

区分	平成 28 年 度末	平成 29 年 度末	平成 30 年 度末	令和元年 度末	令和 2 年 度末
川口	2	1	1		
堀之内	4	1	2	3	4
小出	8	13	13	10	12
湯之谷	9	9	8	8	8
広神	12	12	12	10	10
守門	7	8	10	10	10
入広瀬	6	4	3	3	3
計	48	48	49	44	47

カ 入退所数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入所	7	9	6	4	5
退所	9	9	5	9	2

キ 入所前

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
在宅	3	6	5	3	5
病院	1	2			
施設		1		1	
サ高住	1		1		
障害者訓練施設	2				
計	7	9	6	4	5

ク 退所先

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
病院	5	1	1	1	
特養	1	4	2	5	
老人保健施設	1				
グループホーム					
高齢者住宅					1
自宅					
死亡	2	4	2	3	1
計	9	9	5	9	2

ケ ひやりはつと件数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
転倒	55	88	59	40	44
転落	17	13	12	9	3
外傷	1	11	13	11	7
誤嚥	2	2	2	3	1
異食	2	1			2
離設	1	6	3	3	6
紛失破損	2	3	9	5	1
熱傷	1		1		
与薬	4	18	14	2	7
その他	2	4	12	5	10
計	87	146	125	78	81

コ 生活管理指導短期宿泊事業

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	15	8	16	13	14
利用者延べ数	82	41	91	76	189